



平成22年 7月 16日

各 位

会社名 東洋埠頭株式会社  
代表者名 取締役社長 三浦 等  
(コード番号 9351 東証第1部)  
問合せ先 経理部審査課長 伊藤 孝  
(TEL. 03-5560-2702)

### 平成23年3月期第1四半期における特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成23年3月期第1四半期会計期間（平成22年4月1日から平成22年6月30日まで）において、下記の通り特別損失を計上する必要が生じたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 「資産除去債務に関する会計基準」の適用に伴う特別損失の計上

「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号）及び同適用指針（企業会計基準適用指針第21号）の適用に伴い、期首時点で発生する影響額を特別損失として計上いたします。なお、資産除去債務の内容は倉庫施設用賃借地の原状回復義務に係る費用等であります。

	連結	個別
(A)平成23年3月期第1四半期会計期間の「資産除去債務に関する会計基準」の適用に伴う特別損失の総額	390百万円	390百万円

(注) 当社の決算期末は、3月31日です。

#### ○純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

	連結	個別
(B)平成22年3月期末の純資産額 (A/B×100)	17,209百万円 ( 2.3%)	16,477百万円 ( 2.4%)
(C)平成22年3月期の経常利益額 (A/C×100)	822百万円 ( 47.4%)	817百万円 ( 47.7%)
(D)平成22年3月期の当期純利益額 (A/D×100)	379百万円 (102.7%)	273百万円 (142.6%)

#### 2. 今後の見通し

上記の特別損失を計上するほか、「資産除去債務に関する会計基準」の適用に伴い減価償却費等の営業原価が約40百万円増加するため、当期純利益は連結、個別ともに270百万円程度減少する見込みであります。これは平成22年5月17日に公表した業績予想には織込まれておりません。

平成23年3月期第2四半期累計期間及び通期の業績の見通しにつきましては、現在集計中であり、結果がまとまり次第改めて業績予想の修正を行う予定です。

以 上